

マルチビューワ

HMV21

設定ツール 操作説明書

Ver.1.0

1. 概要	1
2. 『ビュー設定ツール(HMV21)』による設定	3
2-1 インストール	3
2-2 モニタ数設定	4
2-3 通信ポート設定	5
2-4 本体設定	7
2-5 レイアウト編集	8
2-5-1 動作プリセットの選択	9
2-5-2 ユーザープリセットの編集	12
2-5-2-1 マウス操作による配置移動	13
2-5-2-2 マウス操作による画面サイズ変更	13
2-5-2-3 サイズ選択による画面サイズ変更	13
2-5-2-4 数値指定による位置・画面サイズ変更	14
2-5-2-5 画面重ね時の背面画面の操作	14
2-5-2-6 等分割表示	15
2-5-2-7 プリセット設定のコピー	16
2-5-3 背景色の設定	17
2-5-4 ロゴ表示設定	18
2-5-4-1 分割画面背面にあるロゴの操作	20
2-5-4-2 ロゴデータの変更	21
2-5-4-3 ロゴデータの送信	22
2-5-5 元に戻す・やり直し	23
2-5-6 初期化	24
2-5-6-1 出荷時設定に戻す	24
2-5-6-2 動作プリセットのレイアウトを初期化	24
2-6 チャンネル別画面詳細設定	25
2-6-1 画面表示のON/OFF	26
2-6-2 画面ポジション/サイズ設定	26
2-6-3 オーバースキャン/アンダースキャン設定	27
2-6-4 チャンネル枠設定	28
2-6-4-1 枠情報の保存	29
2-6-5 チャンネル名表示設定	30
2-6-5-1 チャンネル名称設定	31
2-6-6 設定チャンネル切り替え	32
2-6-7 設定の更新	32
2-6-8 設定のリセット	32
2-7 接続ステータス表示	33
2-8 オフラインモード	33
2-9 マルチビューワへのレイアウト設定の送信	34
2-10 マルチビューワからの設定値の取得	35
2-11 アラーム設定	36
2-12 ステータス表示	38
2-13 設定値のエクスポート	39
2-14 設定値のインポート	40

1. 概要

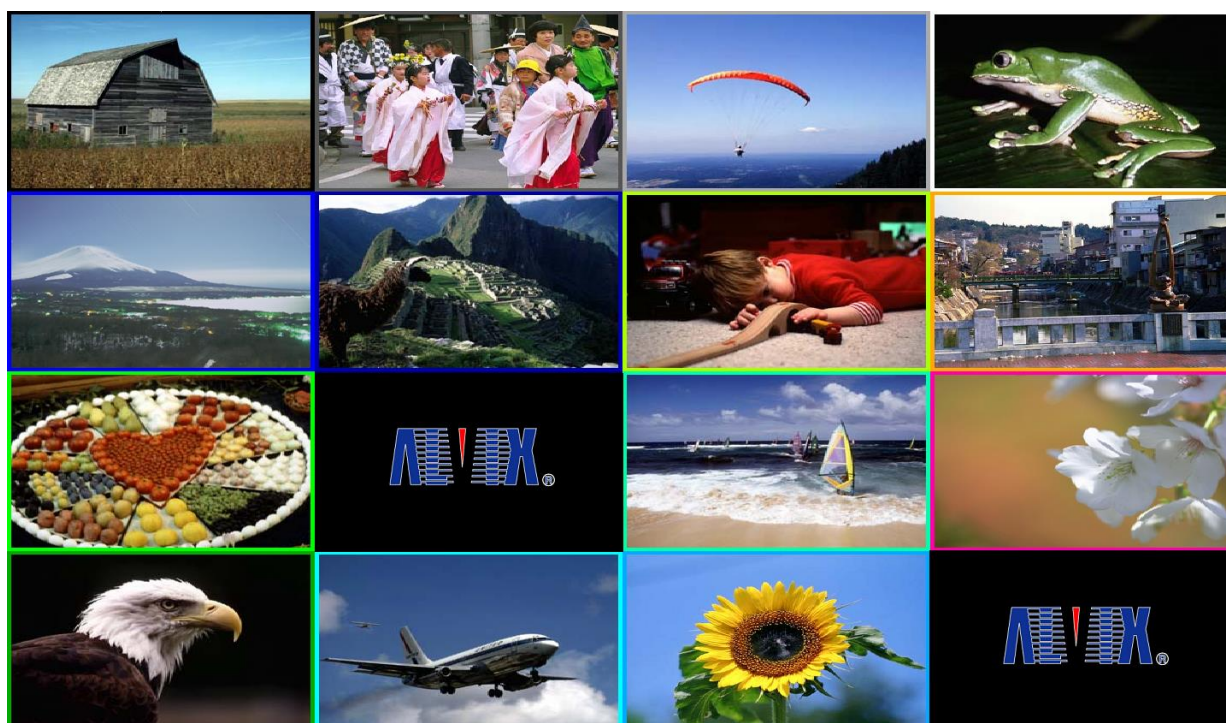
本書は「マルチビューワ<HMV-21>」（以下、マルチビューワ）に添付されるソフトウェア（以下、設定ツール）の操作方法について説明するものです。
付属の設定ツールを使用することにより、下記の設定が行えます。

- ◇任意のサイズ、位置でレイアウトが可能です。
表示可能チャンネル数は、最大20chの表示が可能です。
- ◇チャンネルごとにオーバー／アンダースキャンを設定可能です。
- ◇固定レイアウトの他に、20通りのレイアウトをプリセット登録しておく事が可能です。
（固定レイアウト：8個 + ユーザープリセット：20個）
- ◇チャンネルごとに64色の中からふちどり色を指定可能です。
また、ふちどり幅の設定も可能です。（0、4、8、16、24、32ドット）
- ◇空きチャンネルのエリアにロゴなどの静止画（JPG、BMP）を合成する事が可能です。
- ◇OSD機能で、チャンネルごとにチャンネル名称などを表示する事が可能です。
- ◇マルチビューワが接続されていない状態でもレイアウト編集等が可能であり、
マルチビューワ接続時に、編集内容の一括設定が行えます。
- ◇マルチビューワの状態を取得する機能を持っています。

< 表示例 >



20 面 (5X4) 表示



16 面 (4X4) 表示

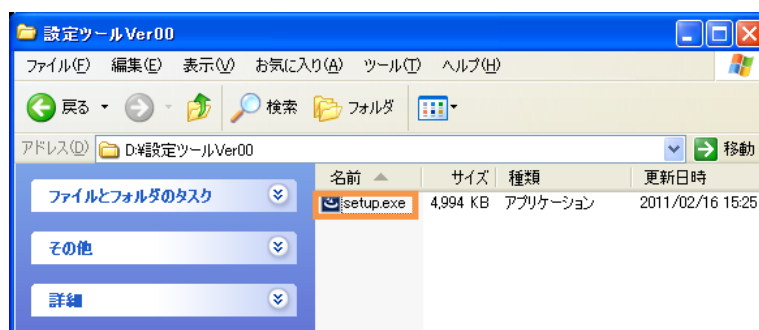
2. 『ビューフ設定ツール(HMV21)』による設定

- ◇付属の専用ソフトウェア『ビューフ設定ツール(HMV21)』を使用することで、PC上からチャンネルのレイアウト設定や、チャンネル名称設定などを行うことができます。
- ◇複数の本体装置の設定を一括で行うことができます。
- ◇『ビューフ設定ツール(HMV21)』はRS-232Cにて設定を行います。

2-1 インストール

- ◇付属のCD-Rもしくはダウンロードサイトから、『ビューフ設定ツール(HMV21)』のインストールを行います。

- (1) 『ビューフ設定ツール(HMV21)』フォルダの中の、『setup.exe』を起動します。



- (2) 画面の指示に従って、インストールを行ってください。

- (3) インストール完了後、『ビューフ設定ツール(HMV21)』を起動してください。



- (4) メイン画面が表示されます。

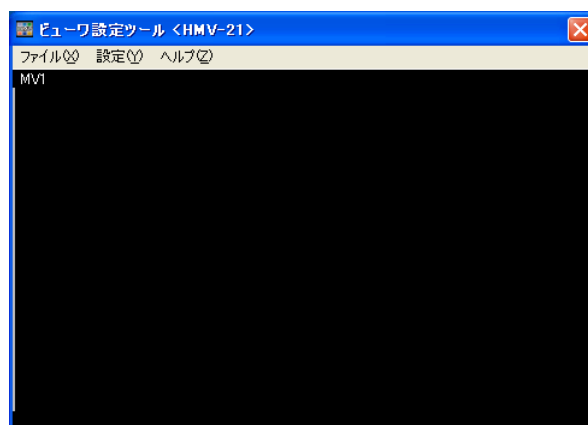
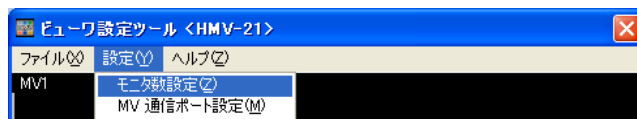


図 2-1-1 メイン画面

2-2 モニタ数設定

- ◇メイン画面にマルチビューワの分割表示設定を一覧表示するモニタ数を設定します。
- ◇最大 8 台のマルチビューワの分割表示設定を一覧表示することができます。

- (1) メイン画面のメニュー「設定」から「モニタ数設定」を選択します。



- (2) 一覧表示するモニタ数を行と列から設定します。最大で 2 行 4 列設定することができます。

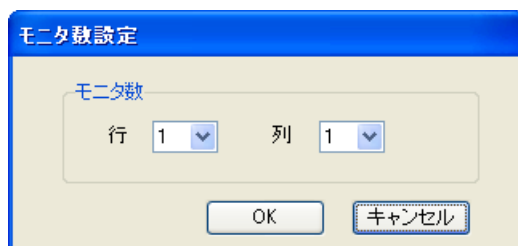
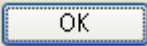


図 2-2-1 モニタ数設定画面

- (3)  をクリックすると、選んだモニタ数によって、メイン画面が変化します。メイン画面上にそれぞれのモニタ番号が表示されます。

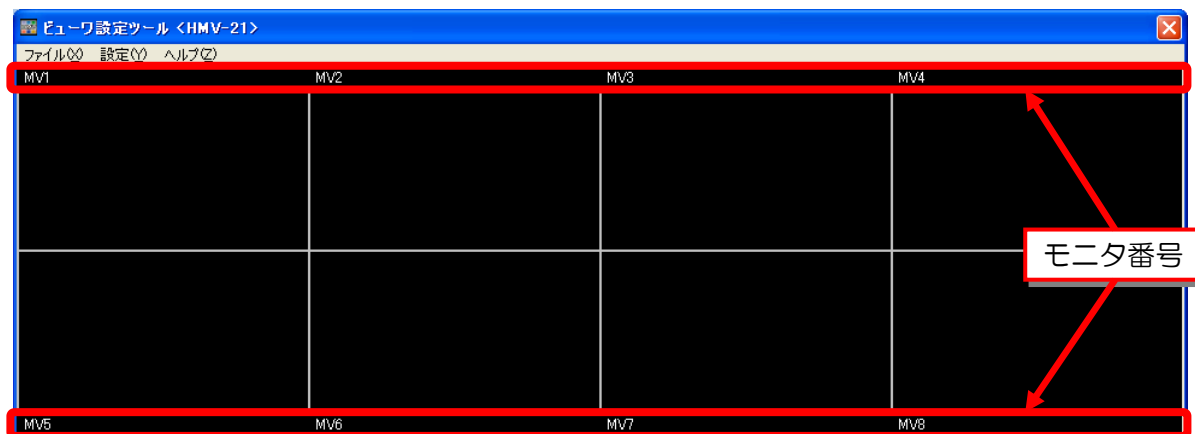
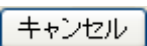


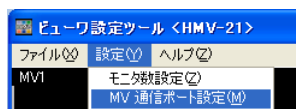
図 2-2-2 メイン画面 (2 行×4 列)

- (4)  をクリックすると、設定を中止し本画面を閉じます。

2-3 通信ポート設定

◇RS-232C通信を行うPCの通信ポートを設定します。

(1) メイン画面のメニュー「設定」から「MV通信ポート設定」を選択します。



(2) MV選択から、設定を行うモニタ番号を選び、それに対するポートを設定します。



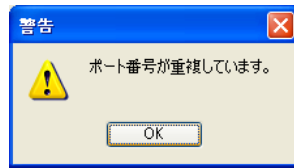
図 2-3-1 通信ポート設定画面

(3)  をクリックすると、モニタに対して設定されたポート番号が表示されます。



図 2-3-2 メイン画面

(4) 異なるモニタに対し、同じポートを選択すると、下記エラーが表示されます。



(5)  をクリックすると、以前の設定に戻ります。

(6)  をクリックすると、設定を中止し本画面を閉じます。

2-4 本体設定

◇マルチビューワ本体の設定を外部制御モードにします。

- 本体背面ロータリースwitchを「O」に設定します。

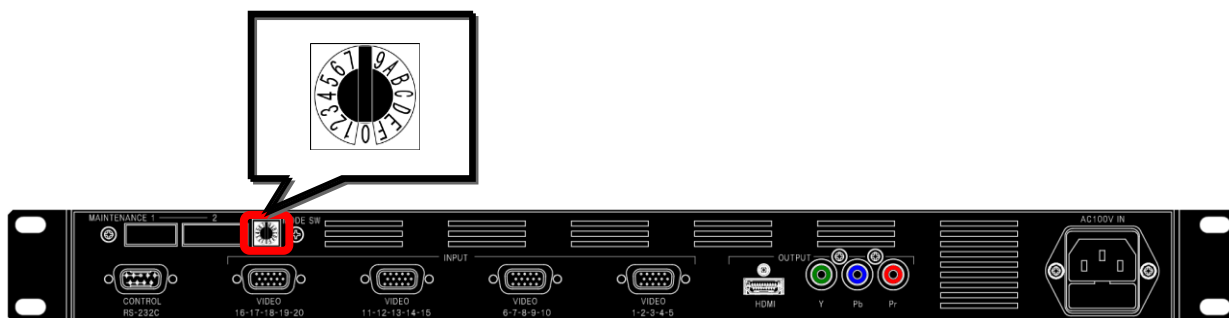
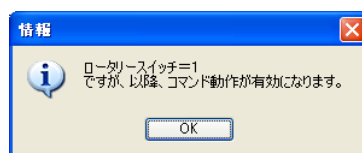


図 2-4-1 本体背面

- ※ ロータリースwitchが「O」以外だった場合、下記メッセージ表示後、設定ツールの操作を行うことができます。



- ※ 設定ツール操作中であっても、ロータリースwitchの操作が行われた場合、ロータリースwitchの操作による動作プリセットの変更が優先されます。

2-5 レイアウト編集

- ◇マルチビューに対する分割表示設定などの各種設定を行います。
- ◇マルチビュー接続中は、レイアウト編集画面にて設定・更新した内容はマルチビューに即反映されます。

※ 編集後にまとめてマルチビューに設定内容を反映したい場合は、作業をオフラインモードで行ってください。

➤ 「2-8 オフラインモード」参照

- ① メイン画面から、レイアウト編集を行う画面をダブルクリックすると、レイアウト編集画面が開きます。

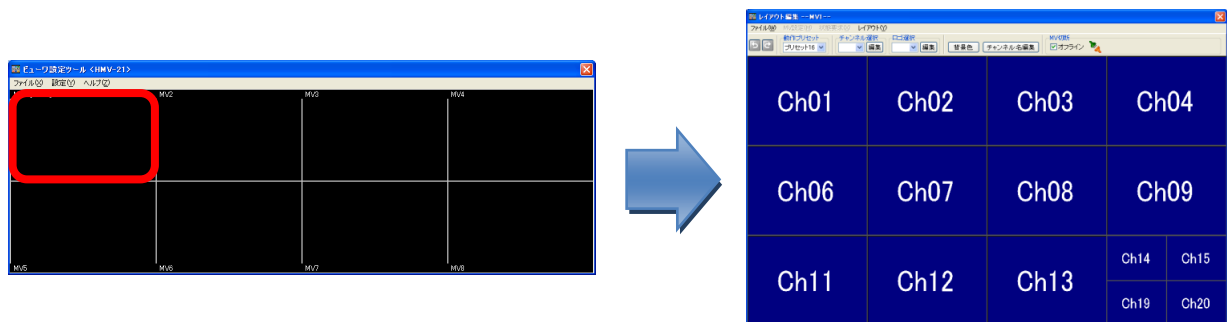


図 2-5-1 レイアウト編集画面

- ②  をクリックすると、本画面を閉じます。

2-5-1 動作プリセットの選択

◇動作プリセットは、固定レイアウト8個、ユーザープリセット20個の計28個から選択します。

◇プリセット1～8が固定レイアウト、プリセット9～28がユーザープリセットです。

- (1) レイアウト編集画面の「動作プリセット」のプルダウンから、任意のプリセットを選択できます。

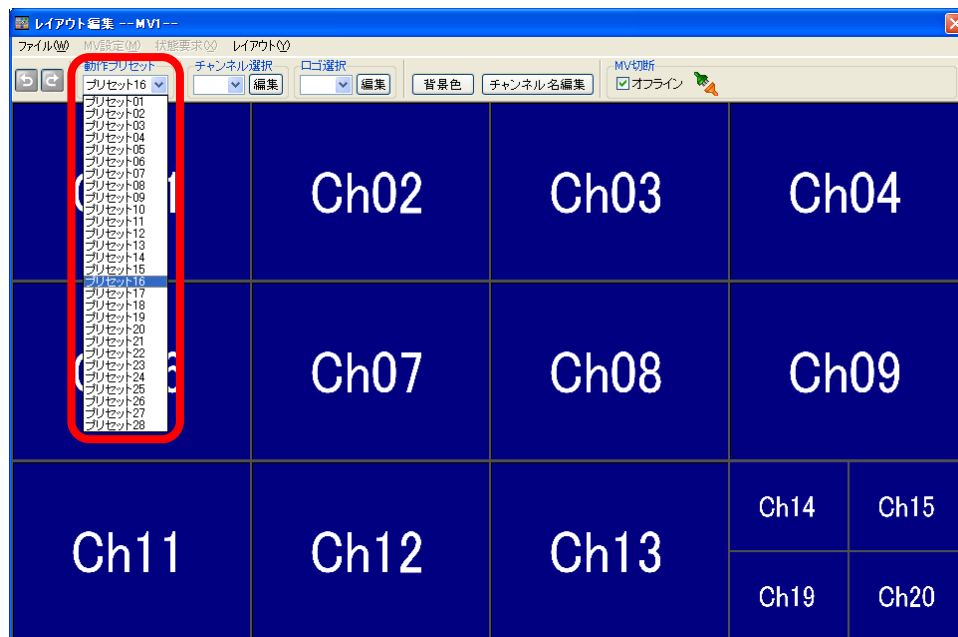


図 2-5-2 動作プリセット選択

※ 図 2-5-3 ～ 図 2-5-5 は、各プリセットの初期レイアウトです。

480×360	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09
	Ch11	Ch12	Ch13	Ch14

<プリセット 1>

384×270	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04	Ch05
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09	Ch10
	Ch11	Ch12	Ch13	Ch14	Ch15
	Ch16	Ch17	Ch18	Ch19	Ch20

<プリセット 2>

384×270	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04	Ch05
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09	Ch10
768×540	Ch16		Ch13	Ch14	Ch15
			Ch18	Ch19	Ch20

<プリセット 3>

384×270	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04	Ch05
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09	Ch10
	Ch11	Ch12	Ch13	768×540	
	Ch16	Ch17	Ch18	Ch20	

<プリセット 4>

384×270	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04	Ch05
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09	Ch10
768×540	Ch16		Ch17		Ch15
					Ch20

<プリセット 5>

384×270	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04	Ch05
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09	Ch10
	Ch11	768×540		Ch20	
	Ch16	Ch19		Ch20	

<プリセット 6>

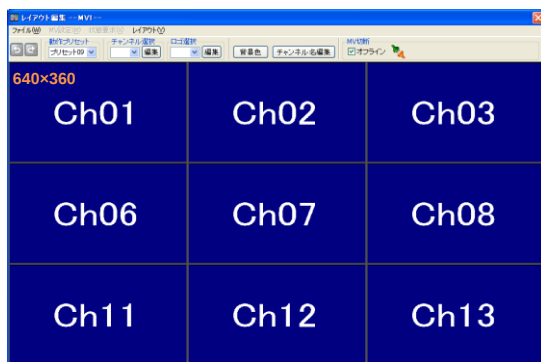
384×270	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04	Ch05
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09	Ch10
640×492	Ch18		Ch19		Ch20

<プリセット 7>

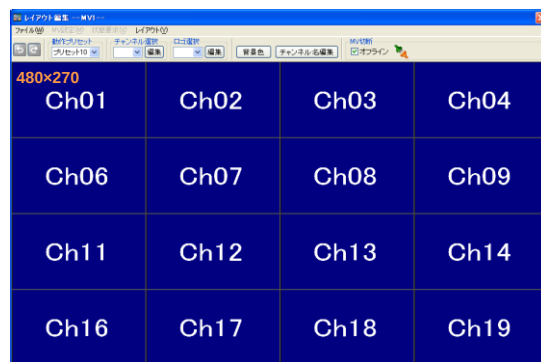
384×270	Ch01	Ch02	Ch03	Ch04	Ch05
	Ch06	Ch07	Ch08	Ch09	Ch10
480×380	Ch17	Ch18	Ch19	Ch20	

<プリセット 8>

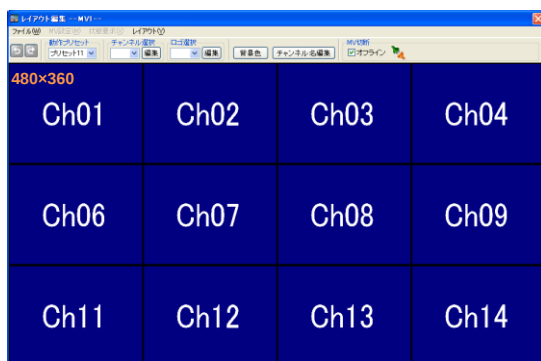
図 2-5-3 固定レイアウト



<プリセット 9>



<プリセット 10>



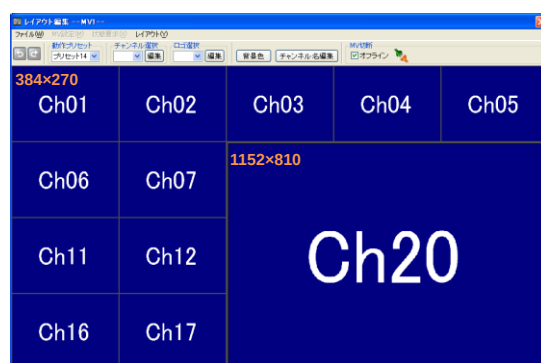
<プリセット 11>



<プリセット 12>



<プリセット 13>



<プリセット 14>

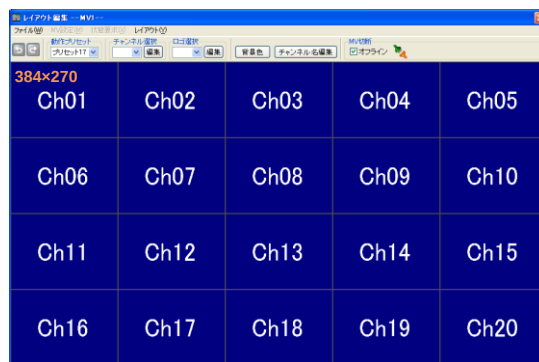


<プリセット 15>



<プリセット 16>

図 2-5-4 ユーザープリセット9～16 初期設定



＜プリセット17～28＞

図 2-5-5 ユーザープリセット17～28 初期設定

2-5-2 ユーザープリセットの編集

◇マルチビューワ1台につき、20通りのレイアウトをユーザープリセットとして登録することが可能です。

◇ユーザープリセットでは、分割画面の、マウス操作による配置移動・サイズ変更、座標指定による配置変更等を行うことができます。

※ Ch1～Ch4或いは、Ch5～Ch8・・・の4面の面積の合計が、 1920×1080 を超える事は出来ません。

※ 基本的な画面重ねには対応しますが、4面間の各サイズや重ね量、位置によっては画像が乱れる事が有ります。

- レイアウト編集画面の「動作プリセット」のプルダウンから、プリセット9～28のいずれかを選択します。

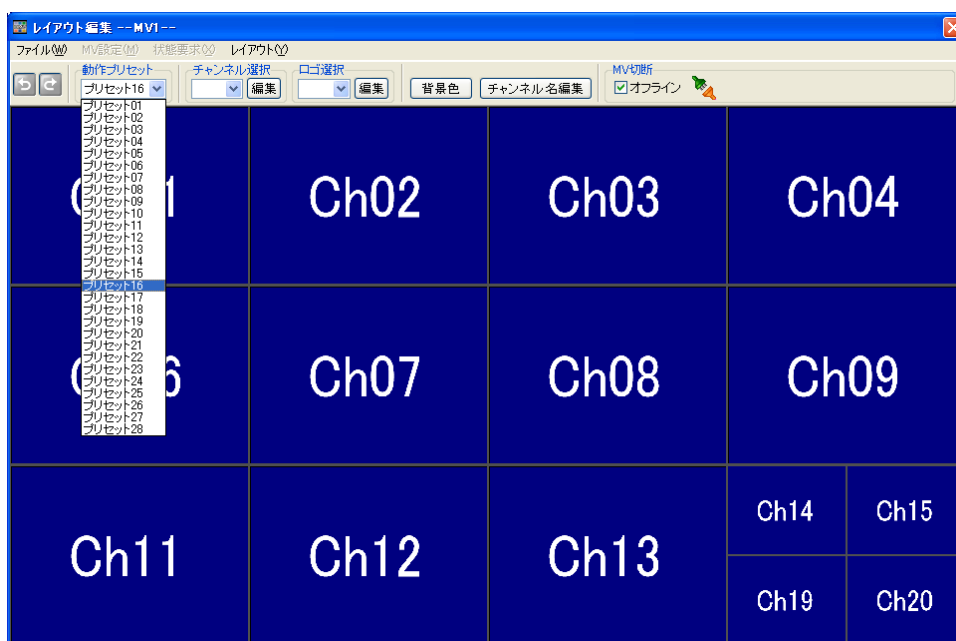


図 2-5-6 ユーザープリセットの選択

2-5-2-1 マウス操作による配置移動

◇分割画面をマウスでドラッグ&ドロップすることにより、配置の移動が可能です。

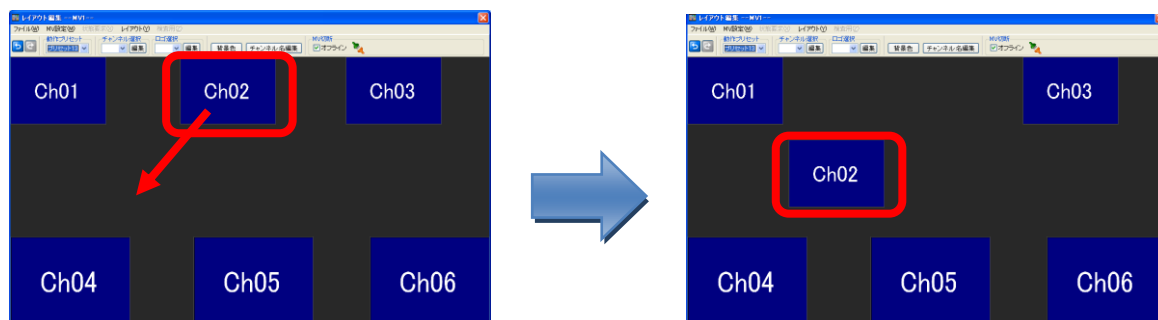


図 2-5-7 配置移動

2-5-2-2 マウス操作による画面サイズ変更

◇分割画面の四隅のいずれかをマウスでドラッグ&ドロップすることにより、画面サイズの変更が可能です。

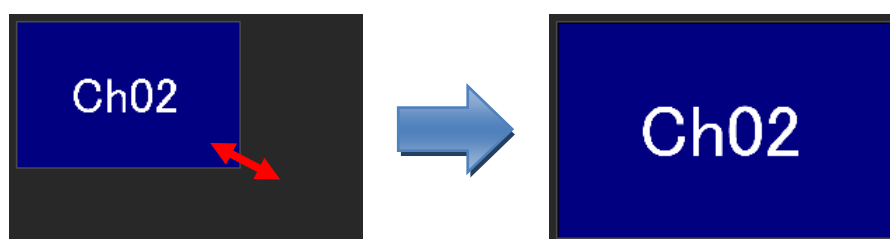


図 2-5-8 サイズ変更1

2-5-2-3 サイズ選択による画面サイズ変更

◇選択肢からサイズを選び、サイズ変更を行うことができます。

- (1) 移動及びサイズ変更を行う分割画面を右クリックします。
- (2) ポップアップメニューが表示されますので「サイズ」の画面サイズ選択リストから、変更後のサイズを選択します。

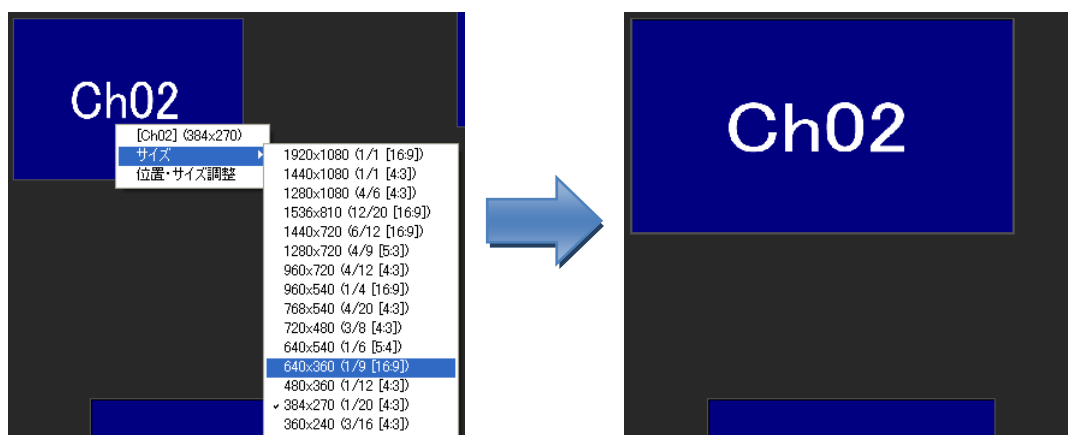
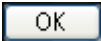


図 2-5-9 サイズ変更2

2-5-2-4 数値指定による位置・画面サイズ変更

◇数値の直接入力により、位置及びサイズ変更を行うことができます。

- (1) 移動及びサイズ変更を行う分割画面を右クリックします。
- (2) ポップアップメニューが表示されますので「位置・サイズ調整」を選択します。
- (3) 「ポジション」に分割画面の座標を、「サイズ」に画面サイズを指定して、

 をクリックします。

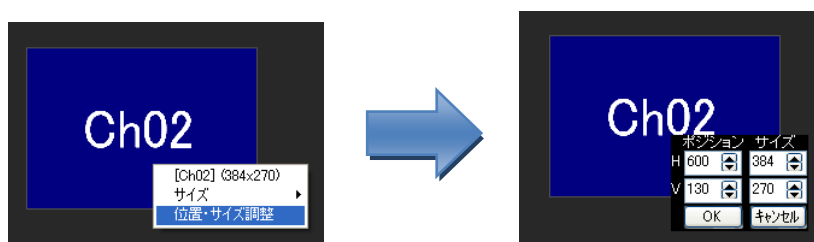


図 2-5-10 サイズ変更3

2-5-2-5 画面重ね時の背面画面の操作

◇複数の画面が重なった状態でも、背面の画面を選択し編集することができます。

※ チャンネル選択した画面（白二点鎖線）は、マウス操作による画面サイズ変更はできません。

- (1) チャンネル選択から、移動もしくは編集したいチャンネルを選びます。

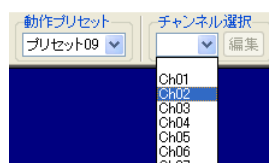


図 2-5-11 チャンネル選択

- (2) 選択したチャンネルの画面が白二点鎖線で示され、マウスによる操作が可能になります。
(配置移動、右クリックでの位置サイズ編集、左クリックで詳細設定画面表示)

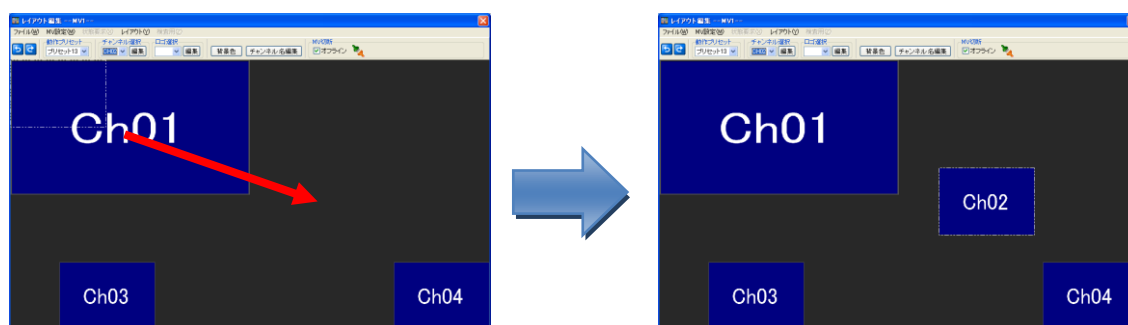
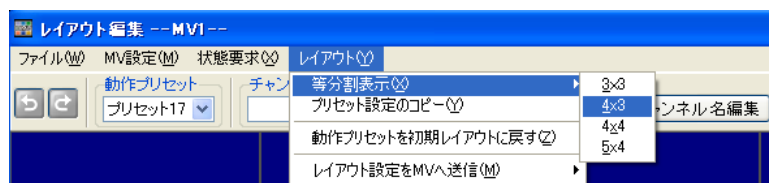


図 2-5-12 画面重ね時の背面操作

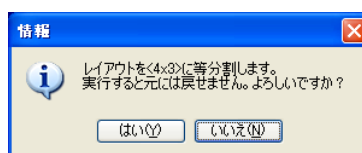
2-5-2-6 等分割表示

◇分割画面を同一画面サイズで整列できます。

- (1) レイアウト編集画面のメニューから
「レイアウト」→「等分割表示」→分割画面数を選択します。



- (2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



- (3) 等分割画面が表示されます。



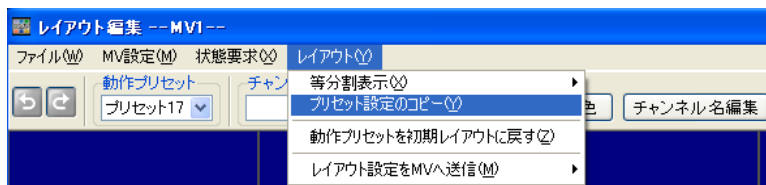
図 2-5-13 等分割表示（4 x 3）

- ※ 本処理は、画面サイズと位置以外のチャンネル設定（表示、枠等）は変更しません。
- ※ 本処理実行後は、「元に戻す」「やり直し」操作がリセットされます。

2-5-2-7 プリセット設定のコピー

◇プリセット間でのレイアウトのコピーが可能です。

- (1) レイアウト編集画面のメニューから
「レイアウト」→「プリセット設定のコピー」を選択します。



- (2) プリセット設定のコピー画面が表示されます。

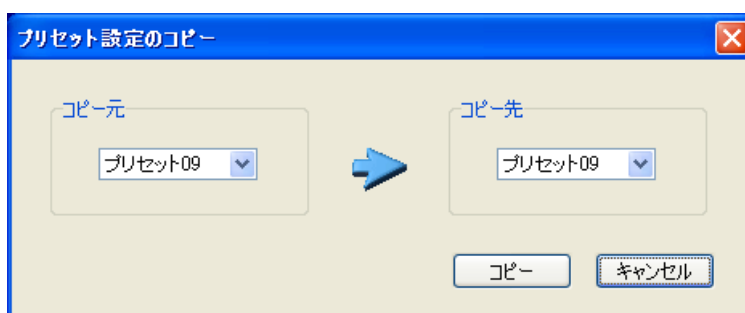
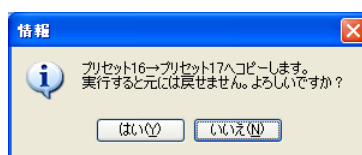


図 2-5-14 プリセット設定のコピー画面

- (3) コピー元のプリセットとコピー先のプリセットをそれぞれ選択し、
コピー をクリックします。

※ コピー先プリセットには、固定プリセット1～8は指定できません。

- (4) メッセージが表示されますので、**はい** をクリックします。



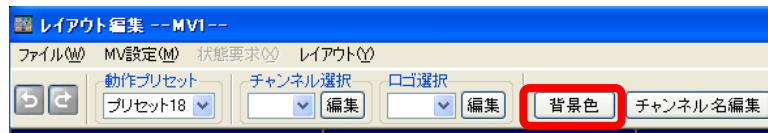
※ 本処理実行後は、「元に戻す」「やり直し」操作がリセットされます。

- (5) **キャンセル** をクリックすると、本画面を閉じます。

2-5-3 背景色の設定

◇分割表示画面の背景色を任意の色に設定することができます。

- (1) レイアウト編集画面から **背景色** をクリックします。



- (2) 背景色設定画面が表示されます。

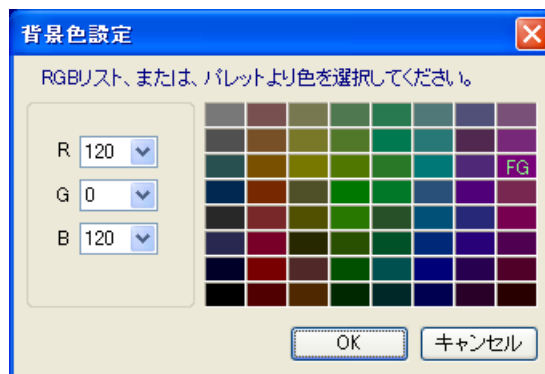


図 2-5-15 背景色設定画面

- (3) 背景色設定画面にて、RGB リストまたはパレットより、背景色を選択し、**OK** をクリックします。

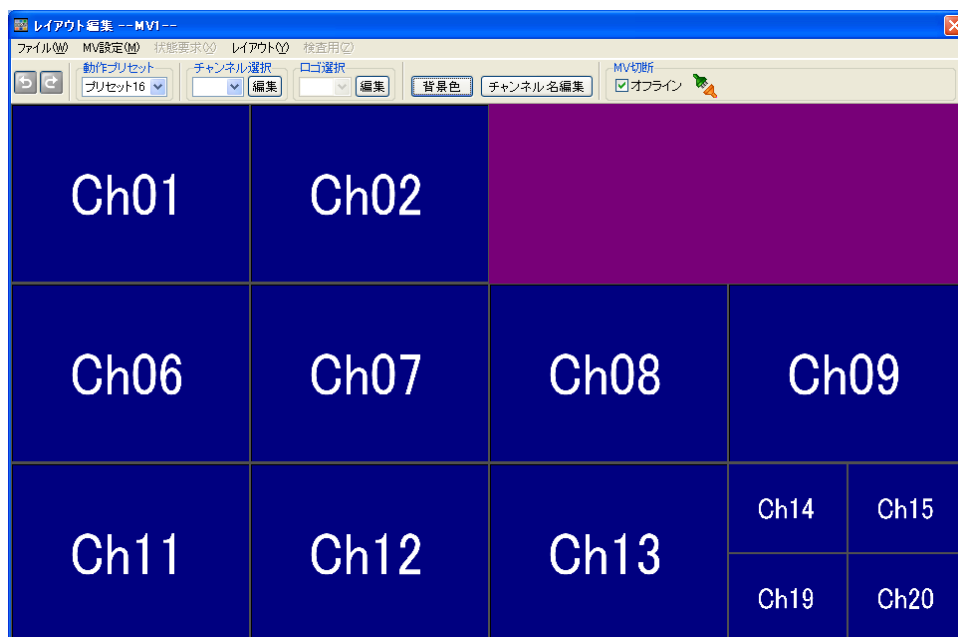


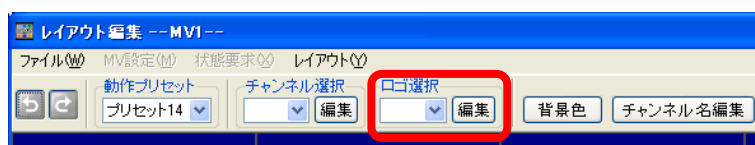
図 2-5-16 背景色の変更

- (4) **キャンセル** をクリックすると、設定を中止し本画面を閉じます。

2 - 5 - 4 ログ表示設定

- ◇分割表示画面の背景に静止画1種を最大4箇所表示することができます。
 - ※ 複数種類のロゴを表示することはできません。
- ◇ファイルの種類は、JPG もしくは BMP です。
- ◇最大サイズはタテ、ヨコ 1020dot、面積 81920dot 以内です。
- ◇最大サイズを超える場合、また長さが 4dot 単位でない場合は縮小します。
- ◇最小サイズは 16×16dot です。それより小さい場合は余白を黒塗りします。

(1) レイアウト編集画面の「ロゴ選択」から **編集** をクリックします。



(2) ログ設定画面から、ロゴ1～4の4箇所の表示／非表示及び表示位置を設定します。

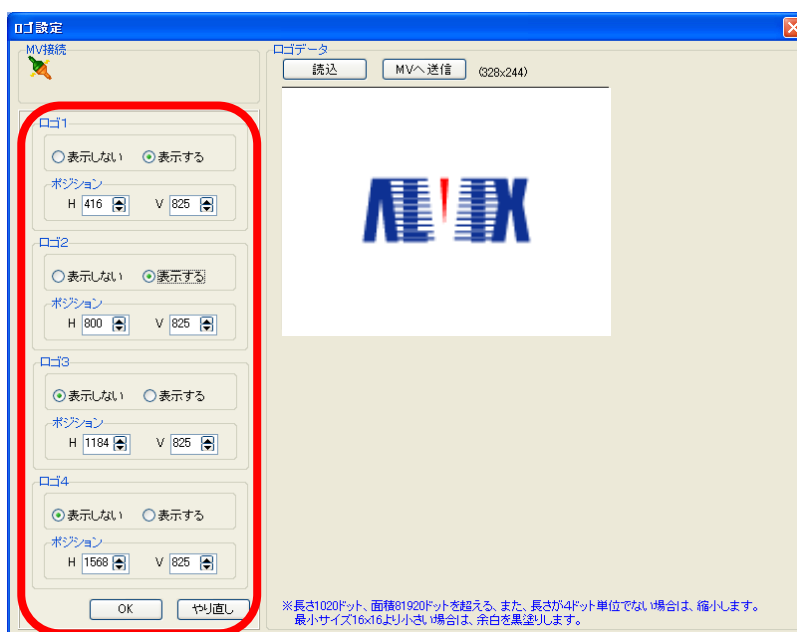
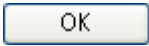


図 2-5-18 ログ設定画面

- (3)  をクリックすると、設定した場所にロゴが表示されます。

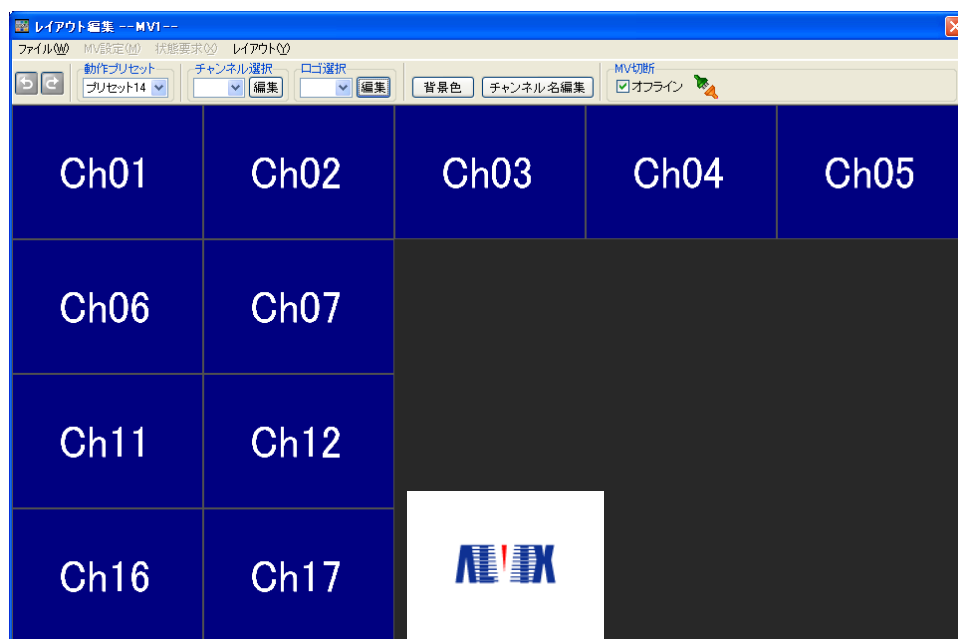


図 2-5-19 ロゴの表示

- (4) マウスでドラッグ&ドロップすることにより、配置の移動が可能です。
また、右クリックで、数値指定による配置の移動も可能です。

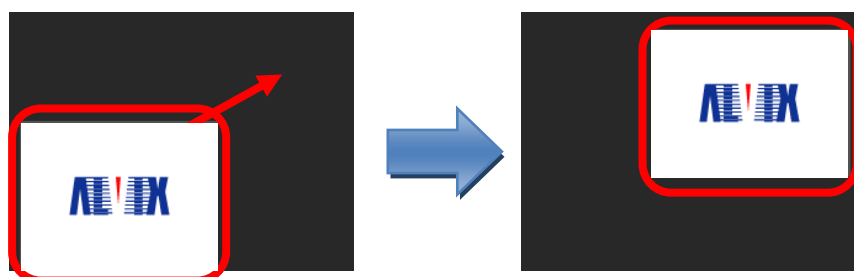


図 2-5-20 ロゴの移動1

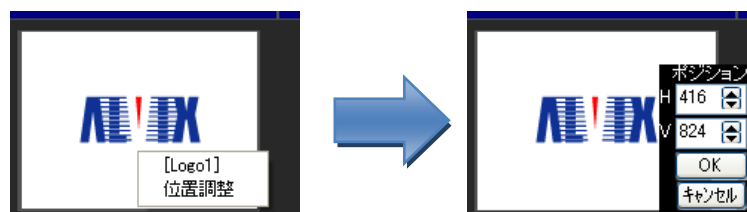


図 2-5-21 ロゴの移動2

2-5-4-1 分割画面背面にあるロゴの操作

◇ロゴが分割画面の背面にある状態でも、ロゴを選択し編集することができます。

- (1) レイアウト編集画面の「ロゴ選択」で編集したいロゴを選びます。



図 2-5-22 ロゴ選択

- (2) 選択したロゴの位置が白二点鎖線で示され、マウスによる操作が可能になります。
(配置移動、右クリックでの位置編集、左クリックでロゴ設定画面表示)



図 2-5-23 背面ロゴの操作

2-5-4-2 ログデータの変更

◇ロゴデータを変更できます。

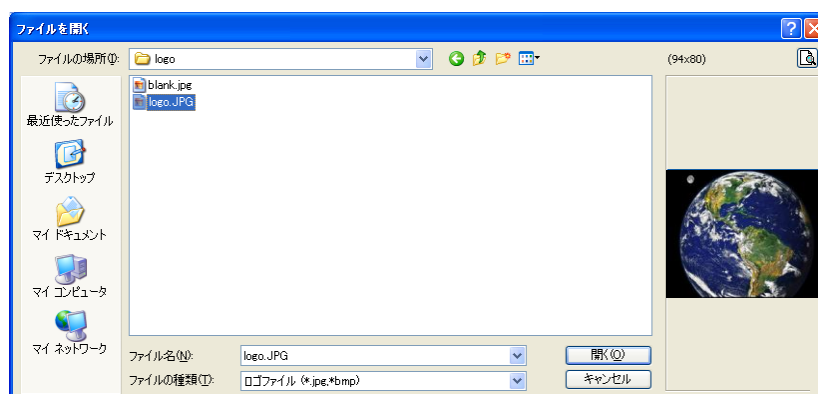
◇変更したロゴデータを装置に反映するには、ロゴデータの送信が必要です。

(1) ログ設定画面から **読み込み** をクリックします。



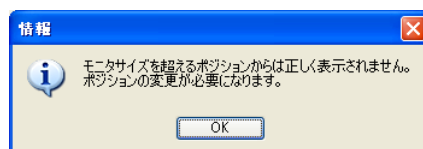
図 2-5-13 ログの読み込み

(2) ログファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。



※ 読み込んだロゴデータがモニタサイズを超える位置に表示設定されている場合は、以下のメッセージが表示されます。

マルチビューワへ送信する前に表示位置を修正してください。



2-5-4-3 ログデータの送信

◇読み込んだロゴデータを、マルチビューア本体に送信し、設定を反映します。

- (1) ログ設定画面にて、読み込んだロゴデータを確認し、**MVへ送信** をクリックします。

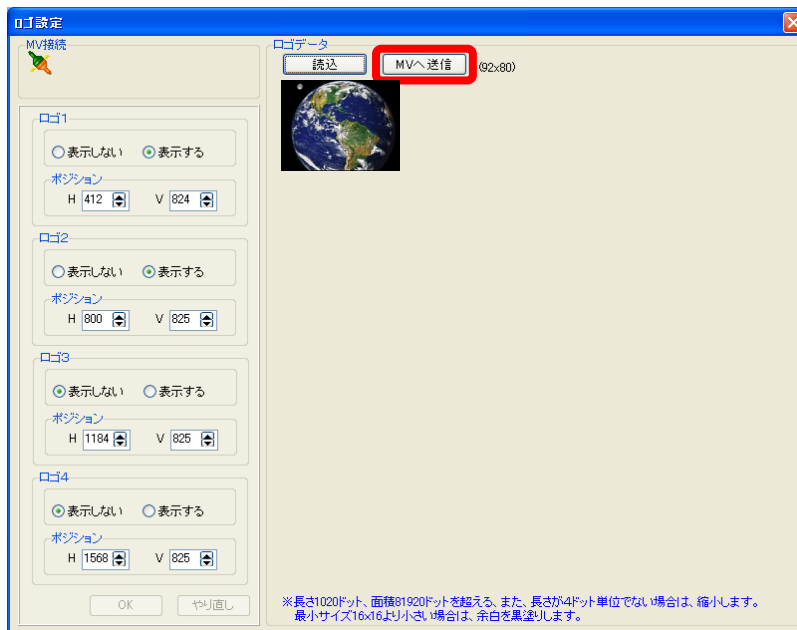
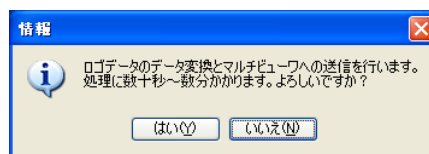


図 2-5-25 ログのマルチビューアへの送信

- (2) メッセージが表示されます。



- (3) **はい(Y)** をクリックすると、データの転送が開始されます。

2 - 5 - 5 元に戻す・やり直し

◇設定した分割画面の配置やサイズの設定を元に戻したり、やり直したりすることができます。

- ※ 動作プリセットの切り替え、設定取得、レイアウト設定等を行うと、本処理はリセットされます。
- ※ 背景色、チャンネル名編集、等分割表示、プリセット設定のコピー、初期化は本処理に対応していません。



図 2-5-26 元に戻す・やり直し

- ①  ボタンをクリックすると、1 つ前の設定に戻ります。
- ②  ボタンをクリックすると、1 つ次の設定になります。

2 - 5 - 6 初期化

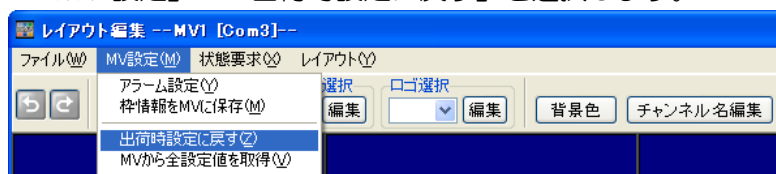
◇設定を変更したレイアウトを初期化することができます。

2 - 5 - 6 - 1 出荷時設定に戻す

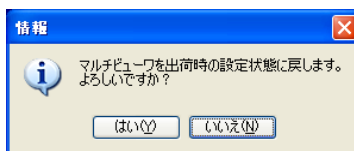
◇全ての設定（全プリセットのレイアウト、チャンネル名、ロゴ、アラーム設定）を出荷時の設定に戻します。

※ 本操作はオフラインモードでは行うことができません。

- (1) レイアウト編集画面のメニューから
「MV 設定」→「出荷時設定に戻す」を選択します。



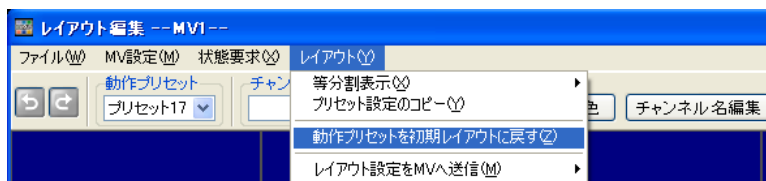
- (2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



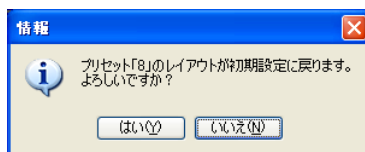
2 - 5 - 6 - 2 動作プリセットのレイアウトを初期化

◇動作プリセットのレイアウト設定を出荷時の設定に戻します。

- (1) レイアウト編集画面のメニューから
「レイアウト」→「動作プリセットを初期レイアウトに戻す」を選択します。



- (2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



2-6 チャンネル別画面詳細設定

◇チャンネル別にチャンネル画面表示の詳細設定を行います。

◇マルチビューア接続中は、詳細設定画面にて設定・更新した内容はマルチビューアに即反映されます。

※ 編集後にまとめてマルチビューワに設定内容を反映したい場合は、作業をオフラインで行ってください。

➤ 「2-8 オフラインモード」参照

◇「2-6-4 チャンネル枠設定」のみ変更した場合は、マルチビューワに設定が保存されません。

➤ 「2-6-4-1 枠情報の保存」参照

- ① レイアウト編集画面から、詳細設定を行うチャンネルをダブルクリックすると、詳細設定画面が開きます。

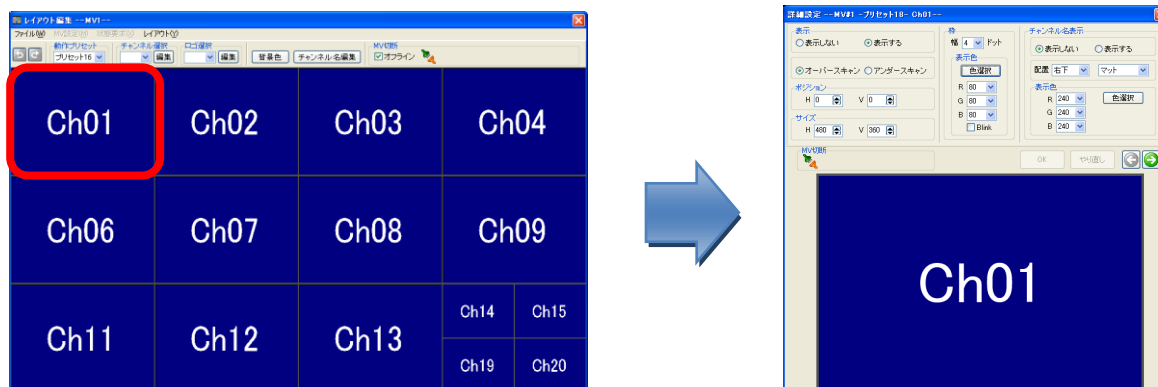


図 2-6-1 詳細設定画面

- ② チャンネル選択で詳細設定を行うチャンネルを選択し、

編集 ボタンをクリックすることでも、詳細設定画面が開きます。

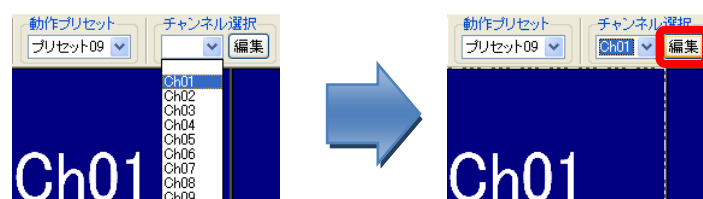
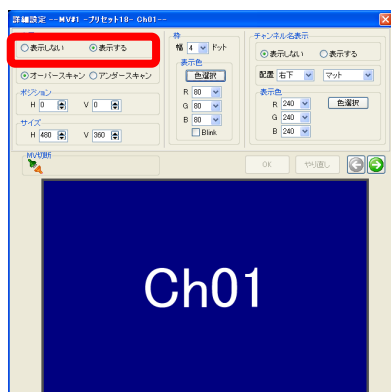


図 2-6-2 チャンネル編集

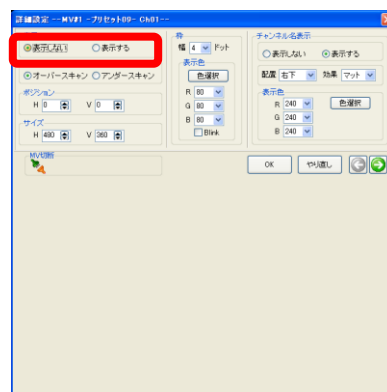
2-6-1 画面表示のON/OFF

◇任意のチャンネルの表示／非表示を切り替えることができます。

(1) 詳細設定画面の表示設定で、「表示する」もしくは「表示しない」を選択します。



＜表示する＞



＜表示しない＞

図 2-6-3 詳細設定画面

2-6-2 画面ポジション／サイズ設定

◇画面のポジション及びサイズを数値で指定できます。

■ 詳細設定画面で、ポジション及びサイズを数値で指定します。

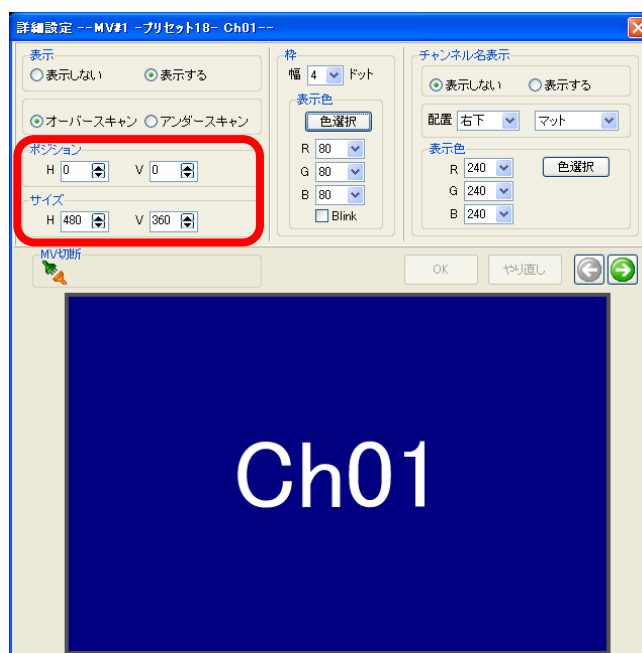


図 2-6-4 画面ポジション／サイズ設定

2 - 6 - 3 オーバースキャン／アンダースキャン設定

- ◇オーバースキャン／アンダースキャンの設定を行います。
- ◇オーバースキャン率は 10%です。
- ◇デフォルトの設定はオーバースキャンになっています。



＜オーバースキャン＞



＜アンダースキャン＞

- 詳細設定画面で、「オーバースキャン」もしくは「アンダースキャン」を選択します。

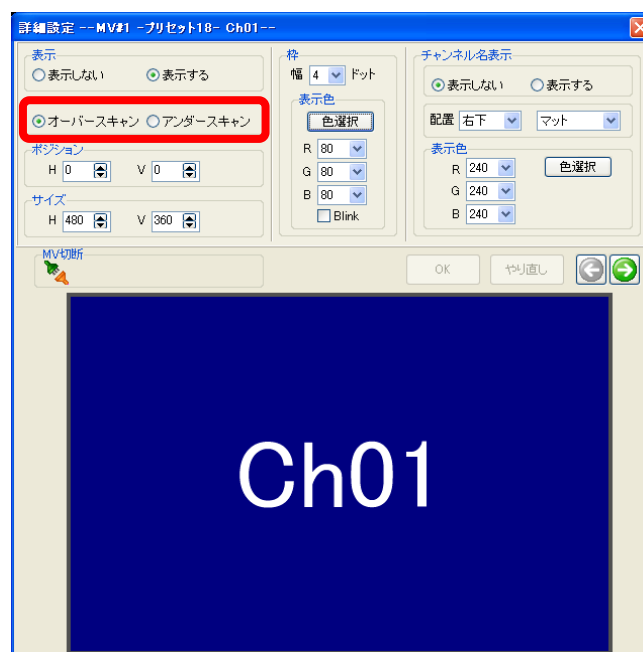


図 2-6-5 オーバースキャン／アンダースキャン設定

2-6-4 チャンネル枠設定

- ◇チャンネルごとに画面枠の色や幅の指定、点滅設定などが行えます。
- ◇枠幅は〔0、4、8、16、24、32〕ドットの中から指定可能です。
- ◇枠色は64色の中から指定可能です。

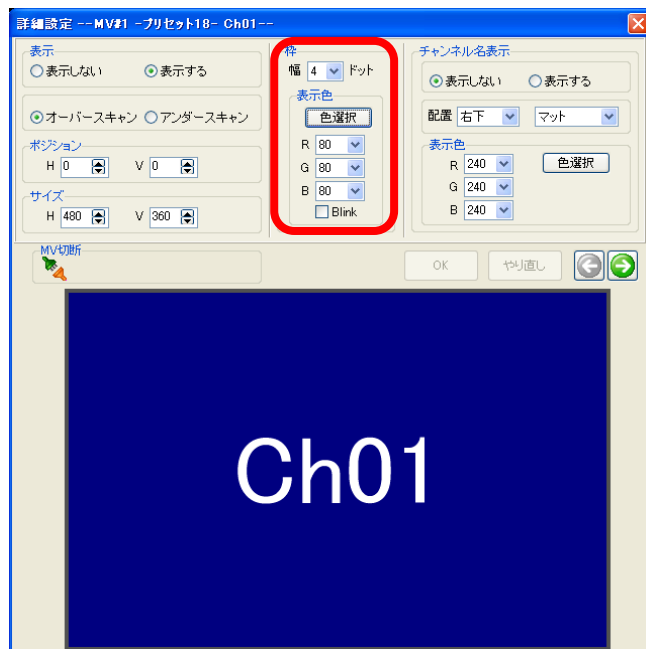
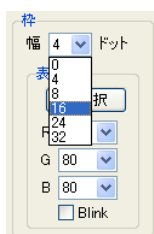


図 2-6-6 枠設定

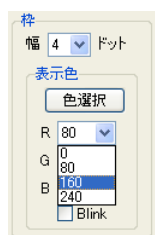
- (1) 枠幅はプルダウンリストから選択します。



- (2) 枠色は、RGB 各出力をプルダウンリストから選択するか、

色選択

をクリックし、パレットから色を選択します。



<RGB 出力>



<パレット>

図 2-6-7 枠色設定

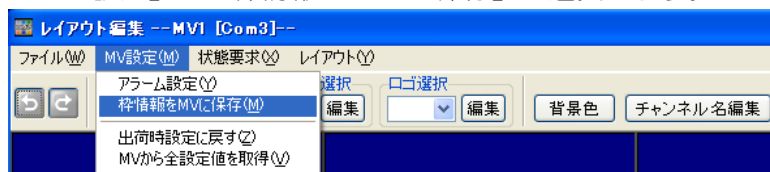
- (3) 枠を点滅させたい場合には、「Blink」にチェックを入れます。

2-6-4-1 枠情報の保存

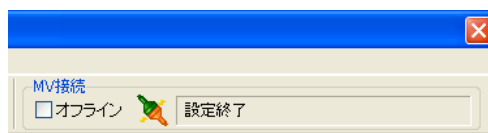
◇本体の電源を ON/OFF しても設定した枠情報がリセットされないように設定することができます。

※ 本操作はオフラインモードでは行うことができません。

- (1) レイアウト編集画面のツールバーから、
「MV 設定」→「枠情報を MV に保存」を選択します。



- (2) 設定終了が表示されれば、枠情報の保存は完了です。



2-6-5 チャンネル名表示設定

◇チャンネル名の表示／非表示及び表示位置や、文字色、表示効果などの設定ができます。

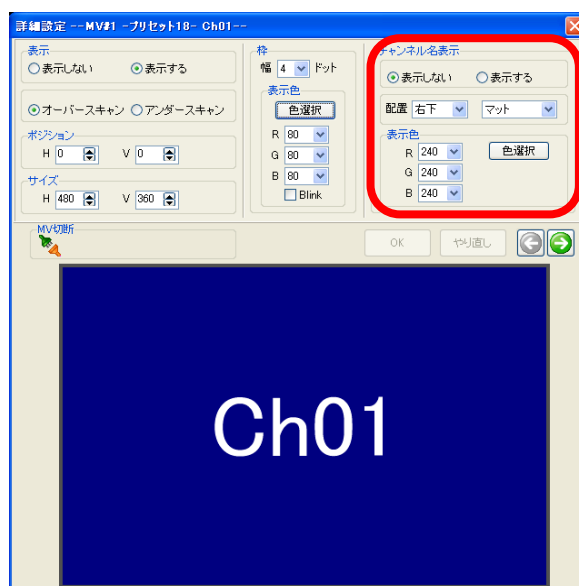
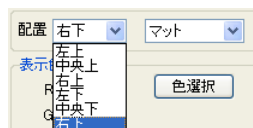
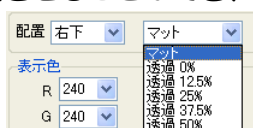


図 2-6-8 チャンネル名表示設定

- (1) 詳細設定画面のチャンネル名表示設定で、「表示する」もしくは「表示しない」を選択します。
- (2) 表示位置をプルダウンリストから選択します。



- (3) 文字の効果を選択します。
マットは、文字の背面の矩形領域を黒で塗りつぶします。
透過は、文字の背面を透過させることができ、その透過率を選択します。



- (4) 文字の色は、RGB 各出力をプルダウンリストから選択するか、

色選択 をクリックし、パレットから色を選択します。

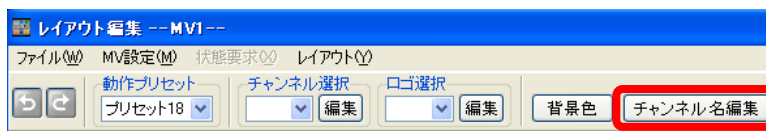


図 2-6-9 チャンネル色設定

2-6-5-1 チャンネル名称設定

- ◇各分割画面のチャンネル名称を変更することができます。
- ◇マルチビューア本体にチャンネル名称設定を送信することができます。

- (1) レイアウト編集画面から **チャンネル名編集** をクリックします。



- (2) チャンネル名設定画面から、チャンネル名を設定します。
全角12文字以内 シフト JIS 第一水準 全角英数カナ漢字に対応しています。

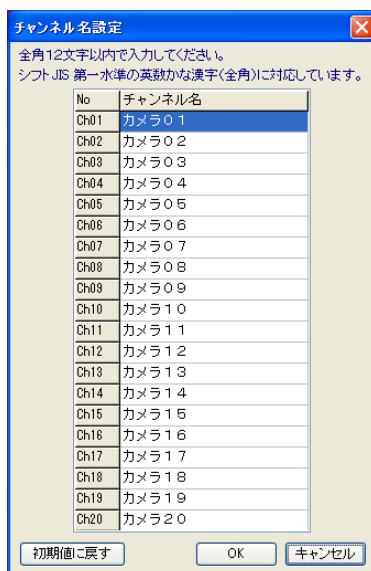
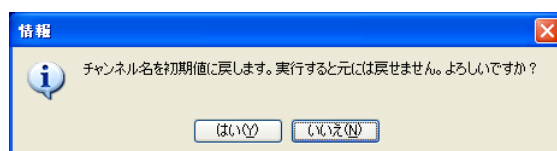


図 2-6-17 チャンネル名設定画面

- (3) **OK** をクリックすると、入力したチャンネル名を設定します。
本体と接続中であれば、マルチビューアに設定を送信します。
- (4) **キャンセル** をクリックすると、設定を中止し本画面を閉じます。
- (5) **初期値に戻す** をクリックするとチャンネル名を初期値に戻します。

メッセージが表示されますので、**はい(Y)** をクリックします。



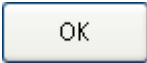
2 - 6 - 6 設定チャンネル切り替え

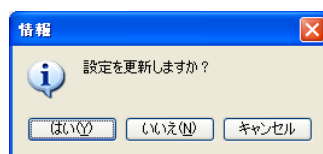
◇詳細設定を行うチャンネルを、順送りもしくは逆送りで切り替えることができます。

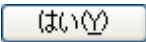
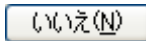
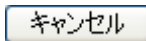
- ①  ボタンをクリックすると、チャンネルを順送りします。
- ②  ボタンをクリックすると、チャンネルを逆送りします。

2 - 6 - 7 設定の更新

◇変更した設定を保存し、マルチビューアに反映します。

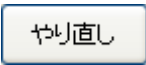
- (1) 詳細設定変更後に、 をクリックすると、設定が更新されます。
- (2) 設定更新せずに、詳細設定画面を閉じようとするか、チャンネルを切り替えよう
とすると、以下のメッセージが表示されます。



- (3)  をクリックすると、設定を保存後、マルチビューアと接続中であれば、マルチビューアに変更が反映されます。
-  をクリックすると、設定を更新しません。
-  をクリックすると、操作をキャンセルします。

2 - 6 - 8 設定のリセット

◇変更した設定をキャンセルして、以前の設定に戻すことができます。

- (1)  をクリックすると、変更した内容をキャンセルし、
変更前の状態に戻ります。

2-7 接続ステータス表示

◇マルチビューワとの接続状況が表示されます。



：接続中です。設定の更新を行うことができます。



：オフライン状態です。マルチビューワへの設定は行いません。

2-8 オフラインモード

◇マルチビューワへの送信を行わずに、レイアウト編集を行うモードです。

◇設定内容はPCに自動保存されます。

◇オフラインモードでは、以下の操作はできません。

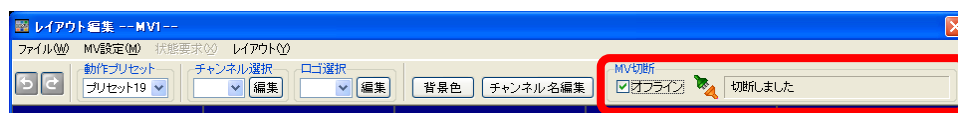
ツールバー

「MV 設定」	→	「情報を MV に保存」、「出荷時設定に戻す」、 「MV から全設定値を取得」
「状態要求」	→	「ステータス表示」
「レイアウト」	→	「レイアウト設定を MV へ送信」

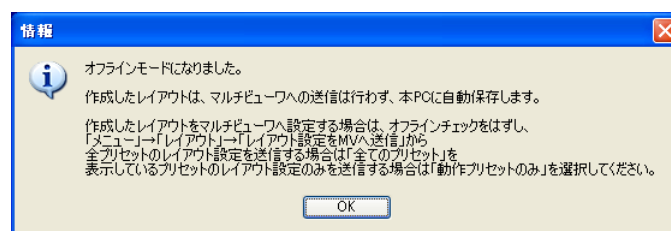
◇オフラインモードで設定したレイアウトをマルチビューワに設定する場合は、オフラインチェックを外し、レイアウトの送信を行います。

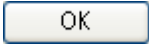
➤ 「2-9 マルチビューワへのレイアウト設定の送信」参照

(1) レイアウト編集画面から「オフライン」にチェックを入れます。



(2) メッセージが表示されます。

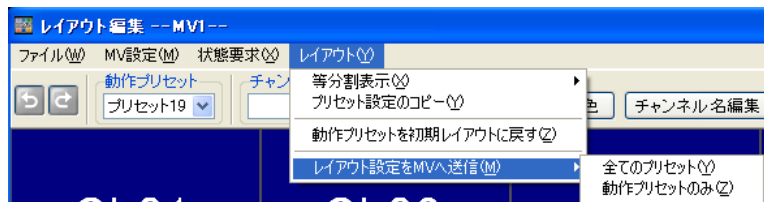


(3)  をクリックします。

2-9 マルチビューワへのレイアウト設定の送信

◇オフライン中に設定したレイアウトをマルチビューアへ反映します。

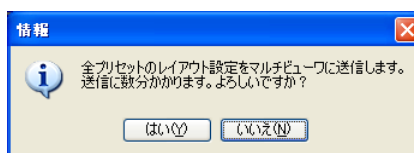
※ 本操作はオフラインモードでは行うことができません。



① 全プリセットレイアウトの送信

(1) レイアウト編集画面のツールバーから、
「レイアウト」→「レイアウト設定を MV へ送信」→「全てのプリセット」を選択します。

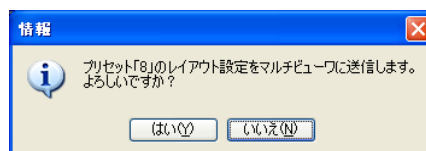
(2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



② 動作プリセットレイアウトのみの送信

(3) レイアウト編集画面のツールバーから、
「レイアウト」→「レイアウト設定を MV へ送信」→「動作プリセットのみ」を選択します。

(4) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



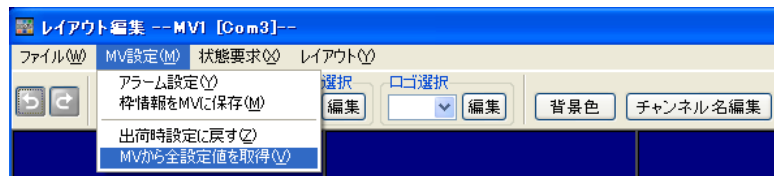
2-10 マルチビューワからの設定値の取得

◇現在マルチビューワに設定されている内容を取得し、設定ツールに反映します。

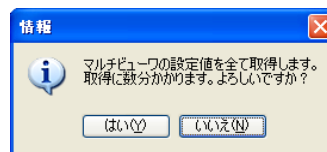
※ 本操作はオフラインモードでは行うことができません。

※ ログの取得はできません。ログ以外の全ての設定を取得します。

- (1) レイアウト編集画面のツールバーから「MV 設定」→「MV から全設定値を取得」を選択します。



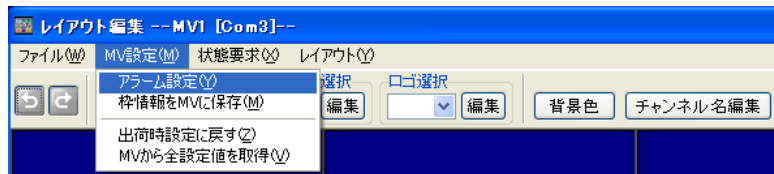
- (2) メッセージが表示されますので、 をクリックします。



2-11 アラーム設定

- ◇マルチビューアが発報するアラームの条件及びアラーム発生時の動作を設定します。
- ◇マルチビューア本体にアラーム設定を送信することができます。

(1) レイアウト編集画面のツールバーから「MV 設定」→「アラーム設定」を選択します。



(2) アラーム設定画面が表示されます。

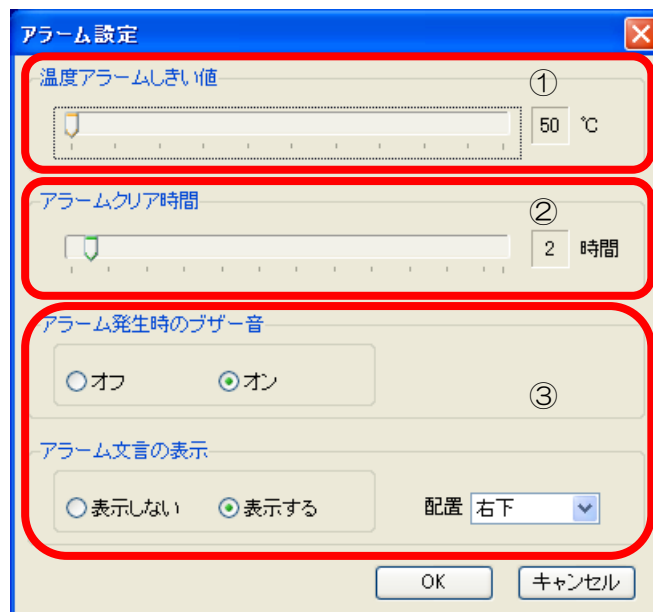


図 2-11-1 アラーム設定画面

① 温度アラームしきい値設定

- 温度異常を知らせるしきい値を設定することができます。
- デフォルトは 60℃となっています。
- 50℃～99℃の範囲で、1℃刻みで設定できます。

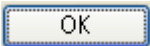
② アラームクリア時間設定

- 一定時間ブザーと OSD 表示アラームの発報を停止します。
- アラームクリア時間は、1～24 時間の範囲で、1 時間刻みで設定できます。
- デフォルトは 24 時間となっています。
- 本体フロント部「アラームクリア」ボタンを 2 秒以上長押しすることでアラームクリアとなります。
- 本体フロント部の LED 表示は解除されません。

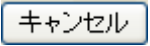


③ アラーム発生時のアラーム動作設定

- アラーム発生時のブザーの発報の ON/OFF を設定できます。
- アラーム発生時の OSD 表示の ON/OFF を設定できます。
- OSD 表示の配置位置を設定できます。

(3)  をクリックすると、設定が更新されます。

本体と接続中であれば、マルチビューアに設定を送信します。

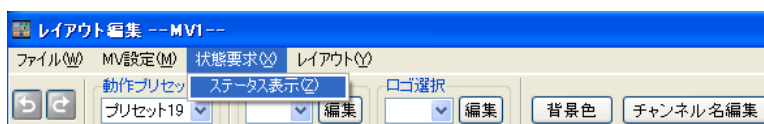
(4)  をクリックすると、設定を中止し本画面を閉じます。

2-12 ステータス表示

◇マルチビューア本体の状態を取得することができます。

※ 本操作はオフラインモードでは行うことができません。

(1) レイアウト編集画面のツールバーから「状態要求」→「ステータス表示」を選択します。



(2) ステータス表示画面が表示されます。

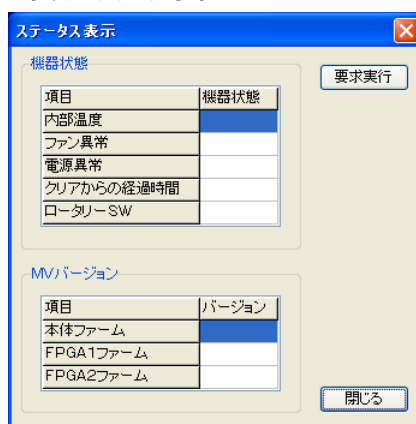
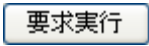


図 2-12-1 ステータス表示画面

No	項目	表示内容
1	内部温度	マルチビューア本体内の温度
2	ファン異常	マルチビューア本体のファンの状態
3	電源異常	電源状態
4	クリアからの経過時間	アラームクリアボタンを押してからの経過時間
5	ロータリーSW	本体背面ロータリースイッチの設定値
6	本体ファーム	本体ファームのバージョン情報
7	FPGA1 ファーム	FPGA1 ファームのバージョン情報
8	FPGA2 ファーム	FPGA2 ファームのバージョン情報

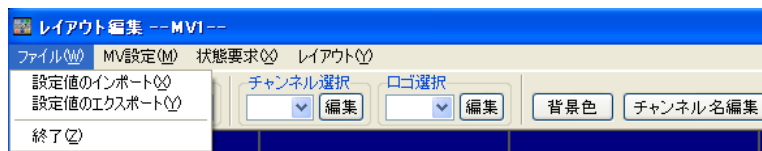
(3)  をクリックします。

(4)  をクリックすると、本画面を閉じます。

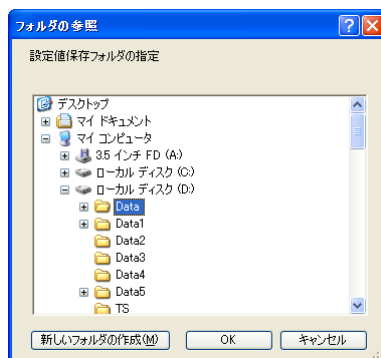
2-13 設定値のエクスポート

◇現在設定されている内容を、ファイルとしてPC上に保存することができます。

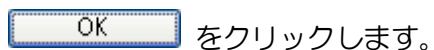
- (1) レイアウト編集画面のツールバーから「ファイル」→「設定値のエクスポート」を選択します。



- (2) フォルダ参照のダイアログが表示されます。



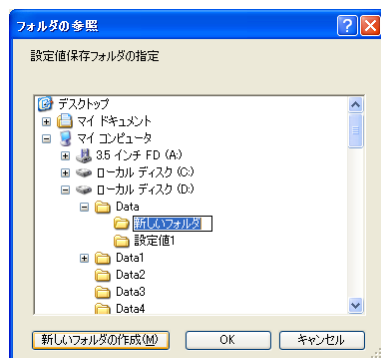
- (3) 保存するフォルダが決まっている場合、そのフォルダを選択し、



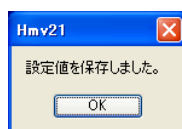
をクリックします。

- (4) 新規に保存先を作成する場合、**新しいフォルダの作成** をクリックします。

選択したフォルダの下に新しいフォルダが作成されます。



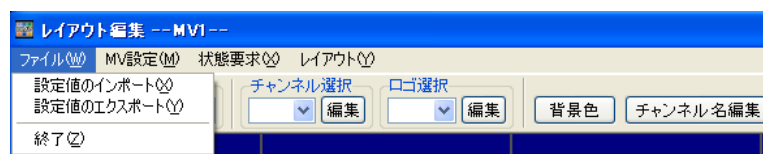
- (5) **OK** をクリックすると、指定フォルダに設定値が保存され、メッセージが表示されます。



2-14 設定値のインポート

- ◇ 「2-13 設定値のエクスポート」にて保存した設定値を読み出すことができます。
- ※ マルチビューワへの設定送信は行いません。
 - ※ 全ての設定値をインポートした場合、マルチビューワに設定を反映させるには、チャンネル名、ロゴ、全てのレイアウト、アラーム設定の送信が必要です。
 - 「2-6-5-1 チャンネル名称設定」参照
 - 「2-5-4-3 ロゴデータの送信」参照
 - 「2-9 マルチビューワへのレイアウト設定の送信」参照
 - 「2-11 アラーム設定」参照

- (1) レイアウト編集画面のツールバーから「ファイル」→「設定値のインポート」を選択します。



- (2) 設定値の読み出し画面が開きます。

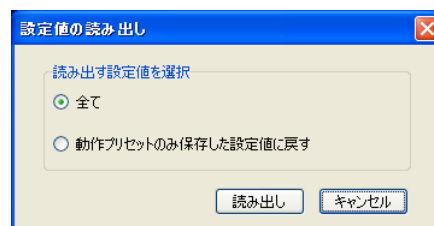
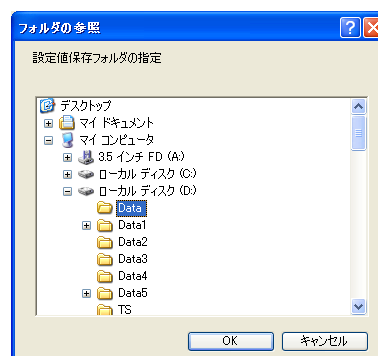


図 2-14-1 ステータス表示画面

- (3) 読み出す設定値を選択し、**読み出し** をクリックします。

- (4) 設定値が保存されているフォルダを選択し、**OK** をクリックします。



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担 当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038